

## 【53】大学等における障害のある学生の受入れ促進のための体制整備・充実事業(仮称)(新規)

平成20年度概算要求額:250百万円

(平成19年度予算額:-百万円)

事業開始年度:平成20年度

事業達成年度:平成24年度

### 主管課

高等教育局学生支援課 (課長:村田 善則)

### 関係課

### 事業の概要

障害のある学生への修学支援について、例えば、独立行政法人日本学生支援機構の実施する「障害学生修学支援ネットワーク」事業の拠点校を現在の7大学から11大学に増やすなど、先進的な取組を行っている大学等における支援体制の充実・促進を図るとともに、障害のある学生が極めて少ない又は在籍していない大学等における支援体制の整備・充実を目指す。

### 必要性

現在、我が国の大学等に在籍する障害のある学生は、4,937人で、全学生数の0.16%であり、また、そのうち大学等から支援を受けている障害のある学生は、2,256人で、全学生数の0.07%に留まっている(平成19年5月独立行政法人日本学生支援機構「大学・短期大学・高等専門学校における障害学生の修学支援に関する実態調査結果報告書」)。

障害のある者(特別支援学校卒業者等)が、高等教育機関に進学し、公的な資格の取得や高度の専門的な知識・技術を習得することは、自立し社会参加を図る上で極めて有効な方策と考えられるが、上記のように、我が国の高等教育機関に在籍する障害のある学生は極めて少人数で、支援を受けている学生はさらに少ない状況にあり、各大学等は、障害のある学生の受入れ経験が乏しく、十分な支援体制が整備されていない状況にあるため、今後、障害のある学生の高等教育機関への進学を促し、当たり前受け入れる体制を整備・充実にしていくことが必要である。

さらに、平成19年6月の教育再生会議から提言された「社会総がかりで教育再生(第二次報告)」においても、国、大学は、大学等における障害のある学生への支援の充実にすることが指摘されており、また、与党の提言においても、大学等における試験等において、発達障害についても必要な配慮や支援が行われるよう必要な措置を講じることや、能力がありながら大学で学びにくい現状を改善するため、大学における障害のある学生への支援の取組を充実することなどについて指摘されている。

### 効率性

障害のある学生への修学支援について、専門部署の設置やコーディネーター(障害のある学生の修学支援に携わる専門員)の配置など、先進的な取組を行っている大学等における支援体制の充実・促進を図るとともに、当該大学等を通じ、障害のある学生が極めて少ない又は在籍していない大学等に対して情報提供や助言を行うことにより、資源配分の効率化を図る。

### 有効性

障害のある者(特別支援学校卒業者等)が、高等教育機関に進学し、公的な資格の取得や高度の専門的な知識・技術を習得することは、自立し社会参加を図る上で極めて有効な方策であるが、上記で述べたように、現在の高等教育機関における障害のある学生の受入れが極めて少ない状況にあるため、今後、障害のある学生の高等教育機関への進学を促し、当たり前受け入れる体制を整備・充実にしていくことは、就学機会の確保を図る上でも有効である。

### 公平性、優先性

障害のある学生への修学支援について、先進的な取組を行っている大学等を通じ、他大学等に対して情報提供や助言を行うことにより、公平性が担保される。

### 18年度実績評価結果との関係

特になし。

### 広報計画

特になし。

### 備考

特になし。

# 障害学生受入促進研究委託

## 文部科学省

委託

## 委託先(事業者)

調査研究

### 最近の動向

- ・中教審答申(平成17年12月)～「高等教育機関における修学支援の必要性」を提言
- ・教育基本法改正(平成18年12月)～国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じる

### 現状

- ・大学・短大・高専に在籍する障害のある学生数 4,937人(学生総数の0.16%)
  - ・障害のある学生が1人も在籍していない大学等数 497校(全体の42.6%)
- (独)日本学生支援機構調べ

## 先進的な取組を行っている大学等(拠点校)

### (1) 障害のある学生への教育における情報の伝達と成績評価の関係に関する調査研究

- ・各大学等における障害のある学生への教育における情報の伝達方法と成績評価の関係に関する実態調査

適切な成績評価のための  
質の高い情報の伝達方法のモデル開発

### (2) 障害のある生徒の進学・支援のための高大連携の在り方に関する調査研究

- ・障害のある高校生の大学等への進学の意識、高等学校における進路指導状況等の実態調査【大学等と高等学校との連携】

進学の促進・支援に向けた  
利用しやすい大学環境のモデル開発

### (3) 障害のある学生の就職を巡る課題克服を目指した大学・企業間連携の在り方に関する調査研究

- ・大学等における障害のある学生への就職支援、企業における雇用の職種、環境整備等の実態調査【大学等と企業との連携】

就職を巡る課題克服に向けた  
利用しやすい大学環境のモデル開発

## 大学改革

- ・障害のある学生への支援の充実
- ・障害のある生徒の大学等への進学促進
- ・障害のある学生が利用しやすい大学環境の実現

障害のある学生の受入促進・支援の充実